

## ■平成27年5月使用開始に向け 新本庁舎建設始まる

新本庁舎の起工式が3月27日、豊科近代美術館西側の建設地で行われ、市関係者、施工業者など約260人が出席しました。冒頭、三郷中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が行われ庁舎の起工を祝いました。新本庁舎は、まちづくり・防災の拠点として「質実剛健で、市民に喜ば

れ、次世代へ引き継がれる市庁舎」を基本理念に設計しています。敷地面積は、約1万7630平方メートル（地下駐車場を含む）、延べ床面積2万1247平方メートル、地上4階地下1階の免震構造で、眺望スペースや市民交流スペースを設けます。契約額は52億1566万5000円、主

な財源に合併特例債を活用します。完成は平成26年12月、使用開始は平成27年5月の予定です。宮澤市長はあいさつで「新本庁舎が市民の皆さんの財産として祝福され『合併して良かった、市役所もできて良かった』と喜んでもらえると確信しています」と話しました。



あいさつをする宮澤市長（左）三郷中学校吹奏楽部による吹奏（右）

## ■2事業所と災害応援協定を締結

市では、災害時の応援協定を2事業者と結び、3月26日に県安曇野庁舎で協定書の調印式を行いました。このうち(株)中部電気保安協会長野支店（倉持高久支店長・長野市）とは、県内市町村で22番目となる「災害時における電気の保安に関する協定」を結び、市内で地震や風水害等による大規模災害が発生し

た場合、市の要請を受け、庁舎や避難所の電気設備の安全確保や電源復旧作業等を行います。また、あづみ野エフエム放送(株)（花村薫代表取締役社長・安曇野市）とは、「災害時におけるコミュニティFM放送に関する協定」を結び、市内で大規模災害が発生、または発生する恐れがある場合、市民へ災害に



2事業所の代表者との調印を終えた宮澤市長

関する情報を円滑に伝えるため、同社のラジオ放送を活用し情報伝達の強化を図ります。宮澤市長はあいさつで「協定により事業者の皆さんと日ごろから連携を密にし、災害時の停電復旧と情報伝達対策に対応していきたい」と話しました。

## ■市民の平穏・安全なまちへ 安曇野警察署と協定書締結

市と安曇野警察署（油井英人署長）は、「暴力団排除に関する措置および支援を行うための協定書」の調印式を3月27日、本庁舎で行いました。

平成24年4月に制定した「市暴力団排除条例」において、市の事務や事業から暴力団などを排除するため、契約の相手方としないことや、市の施設の利用



協定書に署名する宮澤市長と油井安曇野署長

制限などが定められています。この協定では、条例を適正に運用するために、暴力団員やその関係者かどうか、暴力団の情報を知ることが安曇野警察署に問い合わせを行う際の手続きについて記されており、緊急時には口頭でも照会ができるものとしています。宮澤市長はあいさつの中で

「安曇野警察署と迅速に確認ができる体制を築いて暴力団を排除し、市民が平穏で安心の暮らしを確保していきたい」と話しました。

## ■新教育委員長に須澤眞廣さん



教育委員長  
須澤 眞廣

市教育委員会委員長の古幡開太郎さんが、3月31日付で退任し、新しい教育委員長に須澤眞廣さん（穂高）が就任しました。任期は平成25年4月1日から11月8日までです。

また、合わせて市教育委員会臨時会が4月1日に開かれ、新しい委員長を選任しました。市教育委員会委員の体制は次のと

おりです。

- 市教育委員会委員（平成25年4月1日現在・敬称略）
- 教育委員長 須澤眞廣
- 委員長職務代理 望月正勝
- 教育委員 内田洋子
- 教育委員 宮澤豊弘
- 教育長 丸山武人



教育委員辞令交付（4月1日）